

発 言 通 告 書

発言者氏名	小幡沙央里
発言の会議	平成27年 8月28日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 いじめ対策について

(1) 横須賀市いじめ等の対策に関する条例について

ア この条例には教育委員会と学校、家庭、地域社会、関係機関などとの連携がうたわれているが、これらの人々、そして何より子どもたちにこの条例の内容が浸透し、連携をとることができているのか。

イ 条例制定前までのさまざまな取り組みの結果と比べ、いじめの認知件数や相談件数などに変化はあったのか。

ウ いじめ防止やいじめ対策に関し、市長自身がどのように考え、また市民にはどのようなことを望むのか。

(2) いじめの未然防止について

ア 家庭や地域に対し、どのようにいじめ防止を呼びかけ、啓発に取り組んでいるのか。

イ 市内の学校で、生徒が主体的に行ういじめ防止のための活動は行われているのか。具体例があれば効果とあわせて伺う。

ウ 教員の多忙化により、子どもに向き合う時間が少なくなると、

いじめを見過ごしやすくなると思うが、教員の多忙化に対し、横須賀市として対応は考えているのか。

(3) いじめが起きてしまった場合に必要なことについて

ア 子どもが相談をしやすい養護教諭を、今後ふやしていく考えはあるのか。

イ 子どもにとってインターネットが身近なツールだと思うので、電話相談だけでなく、メール相談なども設けてみてはいかがか。

ウ 子どもが自分の身を守るために駆け込める場が、学校の場合以外にも必要だと思うが、いかがお考えか。

エ いじめ発見後、すぐに行動できるような具体的なフローを教職員らが共有する必要があると思うが、具体的ないじめ対応フローなどはあるのか。

オ いじめ解消後、いじめられた児童・生徒への支援、いじめた児童・生徒、周囲の児童・生徒への指導に関してどのようにお考えか。

2 市立幼稚園と（仮称）中央こども園について

(1) 市立幼稚園について

ア 市立幼稚園廃園を考える最も大きな理由は子ども・子育て支援新制度なのか。

イ 市立幼稚園2園はこれまで幼児教育のセンター的役割を担ってきたと思うが、今後廃園にする場合、今までの取り組みはどこにどのように引き継がれていくのか。

(2) （仮称）中央こども園について

ア こども園になるにあたり、幼児教育の重要性についてどのように考えるか。

イ 子ども・子育て支援新制度の下では、在園時間の大きく異なる子どもたちが同じクラスになるようだが、現段階での構想で

はどのようにカリキュラムを組んでいく予定か。

ウ 小学校や中学校との連携に関してどのように考えるか。

エ 保育園、幼稚園、こども園、小学校に共通した連携プログラムや小学校入学への接続カリキュラムを作成する考えはあるか。

オ 定員になっていたとしても、1号認定で障害のある子どもは優先的に入園できるのか。

3 受動喫煙の防止について

(1) 未成年者の受動喫煙防止について

ア 登下校の時間だけでも、通学路などに煙が流れないように、歩行喫煙、路上喫煙の禁止の強化は可能か。

イ 多くの子どもが参加するようなイベントでは、会場を禁煙にするなどの対策が必要だと思うが、いかがお考えか。

(2) 啓発について

ア 市民のモラル向上のために、どのような対策をとっていくのか。